

おかえり台車 32年ぶり修理



おかえり祭り練る美川北町の台車
＝5月21日、白山市美川地区

白山・美川北町

白山市美川北町は、2年後の藤塚神社の春季例大祭「おかえり祭り」に向けて、台車を32年ぶりに修理する。修理を請け負う北島仏壇製作所(同市美川新町)の職人が7日、美川浜町の収蔵庫前で台車を解体した。来年3月に完成する見込みで、県伝統工芸品である美川仏壇の粋を結集した豪華な姿がよみがえる。

2年後の祭りへ準備



美川北町の台車を解体する職人＝白山市美川浜町

美川北町の台車は1827(文政10)年に造られたとされ、日本神話に登場する

る手力雄尊の人形を飾っている。台車胴体の鏡板12枚には雅楽の舞姿の蒔絵が施されており、曳き手のつなぎとして、先端が拳の形をした「蕨手」が使われている。

は2018年に担当するため、台車を修理することを決めた。台車は蒔絵のはがれや部品の破損など傷みが目立っていた。

北川徹さん(56)は「美川北町は人口が10町会の中で最も少ないが、おかえり筋として盛大に祭りを行うため、修理することを決めた。きれいに新しくなるのが楽しみ」と話した。

日中韓 書の交流

中国で展示 小松から出品



揮ごうをする瀧さん
＝中国江蘇省鎮江市

第14回中日韓国際書道展(北國新聞社後援)は、中国江蘇省鎮江市で始まり、小松市と鎮江市、韓国全州市の書道家がしたためた125点が展示された。小松市書道協会の役員ら3人が4日に現地を訪れ、書を通じて交流を深めた。

小松市書道協会、墨心会、小松三湖書道会の各会員をはじめ、鎮江市書法家協会、韓国書芸研究会の書家が出展した。仮名文字や漢字、ハングルなど、各国の文化を象徴する作品が飾られ、開幕式では、鎮江市人民

対外友好長、小松市晴事務局、瀧浩輔さん、と書いた。鎮江の3次回は2月開かれる。

ラオスで保育室を増設

小松東RC、現地訪問報告

小松東ロータリークラブ(RC)の例会は7日、ホテルサンルート小松で開かれ、ラオスの教育環境充実に向けた現地訪問の様子が報告された。待機児童の解消を希望する現地の声を受けた。

け入れるようにする。例会では、同RCの招きで市内のこばと保育園で研修しているラオスの保育士、シーアンパイ・シマンサナンさん、オンラ・パッパフォンさんが紹介された。

高校生に職業講話

小松RC

小松ロータリークラブ(RC)の職業講話は7日、小松工高で行われ、3年生234人が同RC職業奉仕委員7人の話を聞き、進路選択の参考にした。

ぐず焼まつりの音頭を児童練習

加賀・動橋小

加賀市動橋小の3年生30人は7日、動橋町で8月に行われる「ぐず焼まつり」

シイの木の根をはさみで切る児童
＝加賀市庄小



庄小シイの木 元気になって

加賀市庄小の5、6年生37人は7日、枝枯れや葉が小さくなるなどの症状が出た学校のシン

児童らが「治療」

ボル、シイの木め、同市片山津山義春さん(62)た根をはさみでせた土で覆ったシイの木は高り約2メートル、年前に植えられや卒業生に親し庄小は、西山年からシイの木年であり、今年葉が付く成果が12日には、周が枯れる原因とツブを保護者がさんはパイプをに水が行き渡る

市町議会

(7日)

防災行政無線 8月から配布

【川北町】開会＝会期を13日までの7日間に決め、提出議案の説明で、前哲雄町

長は、防災行政無線の戸別受信機を8月ごろから配布するとの見通しを示した。現在、親局をはじめ、屋外拡声子局21カ所の設置を進めている。戸別受信機は全家庭への配布に合わせ、取り扱い説明も行うとした。国民健康保険条例の改正案については、2018

年度の県へ移行に向け、加賀市、保険税増徴4623円を説明し、適用する。本会議など議案、提出され、

石川南